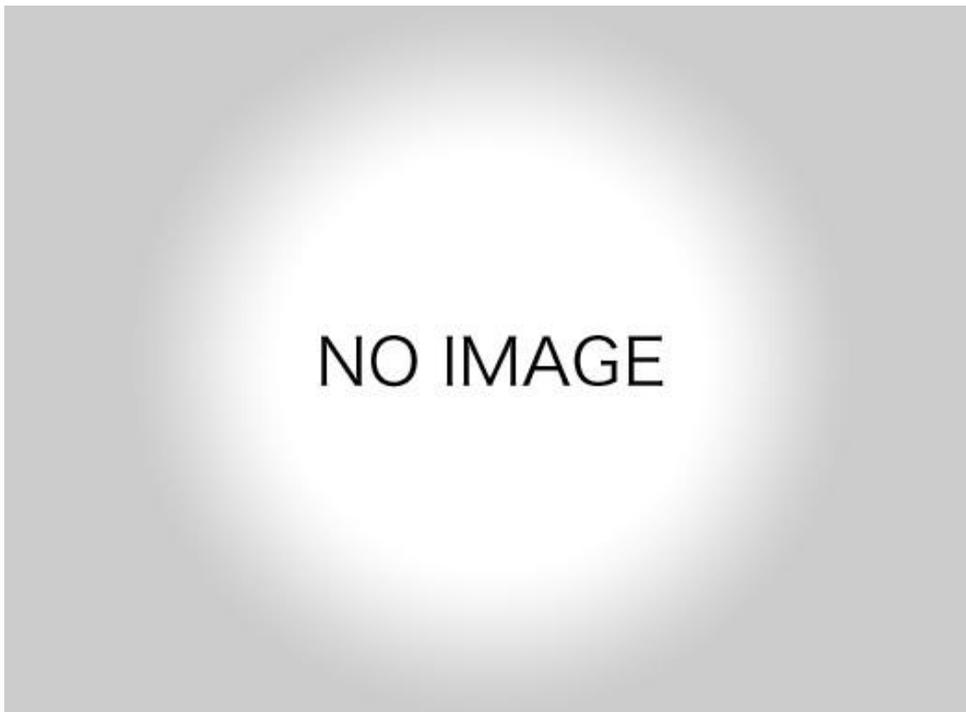


## メボソムシクイ

学名	Phylloscopus borealis (Blasius,1858)	
目名	スズメ目	
目名学名	PASSERIFORMES	
科名	ウグイス科	
科名学名	Sylviidae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし



## [選定理由]

繁殖南限であり。生息地は標高の高い場所に限定され、生息数もかなり少ない。

県内分布	釈迦岳, くじゅう山系, 祖母・傾山, 由布岳の山頂部に夏鳥。
分布域	亜種メボソムシクイ(P. b. xanthodryas)は、北海道, 本州, 四国, 九州(大分)の高山に夏鳥。亜種コメボソムシクイ(P. b. borealis)は旅鳥として全国を通過する。
世界的分布	シベリア, カムチャツカ, サハリンで繁殖, 東南アジアで越冬。
生息環境	亜種メボソムシクイは、亜高山帯の針葉樹林・広葉樹林に夏鳥として生息し、木の根元や崖のくぼ地に営巣する。枝上で鱗翅類の幼虫などの昆虫類を捕食する。
現状	繁殖をする標高の高い場所では、観察者も少ないため、記録が少ない。
備考	亜種コメボソムシクイは、渡りの時期には平地でも観察される。